

専用面積と利用定員

資 料 No. 4

学校名	現学童クラブ 使用教室名	面積 (H26)	現定員	H26.4末 登録	定員1人 当り㎡	1人当たり 1.65㎡	H25平日平 均利用率	H25夏休み平 均利用率	
中根小	多目的室（会議室）	60 ㎡	70	52	0.86	36	52.7	41.10	市の基本的な考え方 通いなれた学校の余裕教室を 活用して学童クラブを開設する。
勝倉小	多目的ホール	78 ㎡	70	51	1.11	47	53.2	42.60	
三反田小	図工室	143 ㎡	70	41	2.04	87	67.8	43.50	国ガイドラインによる基準 一人あたりの面積は1.65㎡以上が 望ましい。支援の単位は70人まで
枝川小	会議室	30 ㎡	30	4	1.00	18	—	—	
東石川小	多目的室（会議室）	65 ㎡	70	47	0.93	39	44.9	25.20	平成27年度から利用予定の湊三小 体育館内の学童専用室（2室）は 120.5㎡、空調完備。
市毛小	多目的室（2室）	128 ㎡	140	116	0.91	78	45.3	40.90	
前渡小	プレハブ（2室）	197 ㎡	140	147	1.41	119	68.2	48.70	湊一小が現在利用する校舎は 平成27年度取り壊し予定のため 教室の変更が見込まれる。
佐野小	専用1 兼用1 教室	127 ㎡	140	113	0.91	77	61.7	44.70	
堀口小	図工室（兼用）	92 ㎡	50	52	1.84	56	65.6	44.00	現学童クラブ使用教室名欄網掛けは空 調設置済。ただし、佐野小は1教室の み、東石川小、長堀小は今年度設置。 平成29年度までに耐震化工事に合わせ 計画的に設置予定。
高野小	生活科室（兼用2室）	64 ㎡	80	92	0.80	39	67.4	45.30	
田彦小	プレハブ（2室）	177 ㎡	140	130	1.26	107	54.8	39.70	全体児童数は平成20年度をピークに減 少中だが、学級数は弾力化の影響もあ り減少する学校は少ない。今後も児童 数増加が見込まれるのは、勝倉小、東 石川小、堀口小、田彦小、外野小。
津田小	多目的室（2室）	142 ㎡	130	103	1.09	86	57.7	42.00	
長堀小	多目的室（2室）	126 ㎡	100	86	1.26	76	54.4	29.20	全体児童数は平成20年度をピークに減 少中だが、学級数は弾力化の影響もあ り減少する学校は少ない。今後も児童 数増加が見込まれるのは、勝倉小、東 石川小、堀口小、田彦小、外野小。
外野小	専用プレハブ（2室）	156.49 ㎡	140	126	1.12	95	62.2	41.80	
湊一小	多目的室（会議室）	62 ㎡	70	69	0.89	38	57.7	40.60	全体児童数は平成20年度をピークに減 少中だが、学級数は弾力化の影響もあ り減少する学校は少ない。今後も児童 数増加が見込まれるのは、勝倉小、東 石川小、堀口小、田彦小、外野小。
湊二小	専用室(体育館内)	92 ㎡	50	33	1.84	56	71.4	72.60	
湊三小	図書室・家庭科室	231.8 ㎡	120	95	1.93	140	64.4	37.80	全体児童数は平成20年度をピークに減 少中だが、学級数は弾力化の影響もあ り減少する学校は少ない。今後も児童 数増加が見込まれるのは、勝倉小、東 石川小、堀口小、田彦小、外野小。
平磯小	平磯幼稚園	76 ㎡	70	64	1.09	46	54.0	47.20	
磯崎小	生活科室	55.0 ㎡	30	15	1.83	33	41.7	38.70	全体児童数は平成20年度をピークに減 少中だが、学級数は弾力化の影響もあ り減少する学校は少ない。今後も児童 数増加が見込まれるのは、勝倉小、東 石川小、堀口小、田彦小、外野小。
阿字ヶ浦小	多目的室	68 ㎡	40	20	1.70	41	67.4	29.90	
		2,170 ㎡	1,750	1,452	1.24	1,315	58.6	41.90	